

企画展

# 佐竹北家日記にみる

# 天文現象展

角館の殿様たちによる二二〇年間の日記の中から  
日食・月食・彗星出現の記録をパネル展示します。

蝕辰ノ四刻ヨリ欠初リ正初刻迄  
七十分ノ老人モ希キト云ハ分欠廿分矣

寛保二（一七四二）年五月一日の日記より

（秋田県公文書館所蔵）

2018 11/10(土) ~ 2019 3/29(金)

## 新潮社記念文学館

開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）  
※11月中は 午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日（祝日は開館）、年末（12/29-12/31）

観覧料 大人（高校生以上）300円 小中学生150円

※団体割引あり、仙北市民無料

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23

電話 0187-43-3333（仙北市学習資料館共通）

主催 仙北市・仙北市教育委員会



▲参考展示「白岩隕石」  
（秋田大学鉱業博物館所蔵）

# 企画展 佐竹北家日記にみる天文現象展

「佐竹北家日記」は、佐竹北家角館二代義明の延宝2（1674）年から明治27（1894）年まで10代220年間書き続けられてきた日記で、一部には家臣の執筆の部分もありますが、ほとんどが殿様たちの直筆です。内容は一族のうごきや交際など私事や、所領についての記事が多く記録されており、武士の生活や行事、習慣についても多くのことを伝えています。また、毎日の天候や日食といった天文現象も記録されています。

本企画展では日記の記録から、日食・月食・彗星の出現にスポットをあてます。古文書に興味のない方々にも佐竹北家日記に興味を持ってもらえるよう、パネルによる紹介を行います。

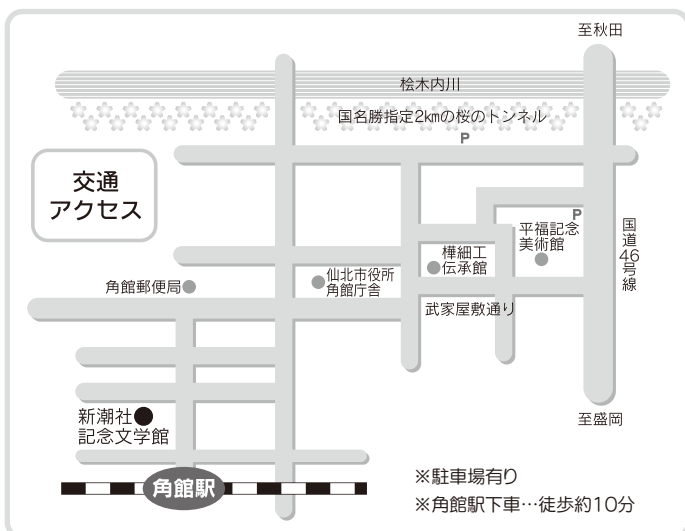
※「佐竹北家日記」（秋田県重要文化財）は秋田県公文書館所蔵です。  
本企画展では原本の展示はありません。

## 参考展示

○菅江真澄『月の出羽路仙北郡二十一』  
より、現在の大仙市（旧仙北町）にある  
隕石にちなんだ地名「星之宮」について  
の一節をパネル展示。  
（原本：秋田県立博物館所蔵写本）

○白岩隕石  
大正9（1920）年に角館町白岩地区  
で発見されました。日本国内で隕石とし  
て確認されているのは51個。白岩隕石  
はその中のひとつで貴重な資料。

※展示資料は変更になる場合があります。



早しき也

延宝八（一六八〇）年十一月十日  
暮半ば頃に雲が立ったというので見に出た。  
西から東へ布を流したような白い雲だった。  
長さ二十間ほどもあった。

彗星の記録

元禄十（一六九七）年三月一日

天気上上よし。今日は四つ頃より日食。  
半分ほど欠けてなるほどよく見える。  
水に映して見た。

日食の記録

「佐竹北家日記」より（秋田県公文書館所蔵）

日食